

第17回 周術期疼痛管理研究会フォーラム

テーマ：『看護力で周術期看護の未来を拓く』

会期：2019年7月6日【土】13:00～17:15（12:30受付開始）

会場：山梨県立大学 看護学部（池田キャンパス）講堂
山梨県甲府市池田1-6-1 055-253-7780

大会長：遠藤 みどり（山梨県立大学看護学部 急性期看護学 教授／周術期疼痛管理研究会 会長）

<フォーラムプログラム>

【開会の辞】 13:00～13:10

【特別講演】 13:10～14:30

◆座長 遠藤 みどり（山梨県立大学看護学部 急性期看護学 教授）

『周術期看護の進化と看護師の手の価値』

—触れる癒すあいだをつなぐ TE-ARTE—

講師 川嶋 みどり先生（日本赤十字看護大学 名誉教授 健和会臨床看護学研究所所長）

【交流セッション】14:30～14:50 心とからだを癒すリラクゼーション

ファシリテーター：前澤美代子（山梨県立大学看護学部 がん看護学 准教授／がん看護専門看護師）

【シンポジウム】 15:00～17:10

『周術期から在宅移行に向けた看護の継続性と役割発揮に向けた課題』

◆座長 佐藤 悦子（山梨県立大学看護学部 在宅看護学 教授）

◆演題 天野 ひかり（山梨厚生病院 看護部 循環器・呼吸器内科病棟 主任）

星野 裕美（加納岩総合病院 看護部 外来 看護課長）

並木 奈緒美（ゆうき訪問看護ステーション 所長）

佐野 和子（山梨県立中央病院 看護部 医療連携・福祉支援科 副看護師長）

【閉会の辞】 17:10～17:05

<会員優待ミニセミナー> 『周術期看護の実践力を高めよう!!!』 9:30～12:00（9:00～受付）

① <早期離床のエビデンスと介入効果>

渡邊 泰子（富士吉田市立病院 看護師長／急性・重症患者看護専門看護師）

② <看護実践における臨床推論～急変サインを見逃すな～>

上川 智彦（山梨県立中央病院 副看護師長／急性・重症患者看護専門看護師）

③ <高齢認知症患者のその人らしさを大切にされた看護>

渡邊 裕子（山梨県立大学看護学部 老年看護学 教授）

参加申込：FAX（裏面申込み用紙に記入）またはメール（popm@yamanashi-ken.ac.jp）でお申込みください。

参加費等：フォーラム（午後）／会員 1,000円*、非会員 5,000円 *当日入会可（年会費 3,000円が必要です）
学生 500円

会員優待ミニセミナー（午前）／会員 1,000円、非会員 3,000円

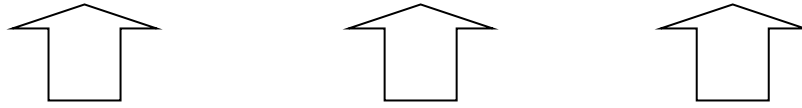
問い合わせ先：周術期疼痛管理研究会事務局 井川・山本 TEL&FAX 055-253-9439

主催／周術期疼痛管理研究会

後援／山梨県看護協会

展示企業／株式会社ジェイ・エム・エス テルモ株式会社 株式会社大塚製薬工場

株式会社フィリップス・ジャパン 東洋羽毛首都圏販売株式会社 明倫堂書店



FAX 055-253-9439

(担当 : 周術期疼痛管理研究会事務局 井川・山本)

第 17 回 周術期疼痛管理研究会フォーラム参加申込書

会場整理の都合上、出席の確認を承ります。7月1日(月)までに必要事項をご記入の上、FAX またはメール (popm@yamanashi-ken.ac.jp) にてお申込み頂きますよう宜しくお願い申し上げます。

御施設名	
参加代表者の御所属・氏名	
御連絡先 (電話番号)	
参加者総数 (予定)	名
参加企画 (○を付けてください)	フォーラム (午後) ミニセミナー (午前)



< 会場 > 山梨県立大学 看護学部 (池田キャンパス) 2号館2階 講堂

主要交通 : バス (JR 中央本線 甲府駅 南口 山梨交通バス乗車場 4 番線)

中央病院経由竜王駅行き → 「県立大学看護学部」下車 徒歩 3分

長塚行き・長塚経由敷島営業所行き → 「甲府城西高校」下車 徒歩 5分

中央病院行き・中央病院経由敷島営業所行き → 「県立中央病院」下車 徒歩 8分

飯田経由敷島営業所行き → 「県立中央病院入口」下車 徒歩 10分

* ご記入頂きました個人情報は、本講演会のご出席者の確認に共催関係者のみで使用し、その他の第三者に提供することはありません。適切な安全管理措置にて保管し、使用目的達成後は速やかに廃棄致します。